

各町区のニュースをお届けしま〜す！

ふもとわがまちほっとニュース！



牛原

●「虚空蔵さん祭り」を開催しました

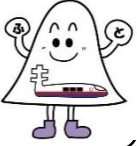


12月13日(日)16時より、虚空蔵菩薩の祭りが行われました。午前中に除草作業と清掃活動が行われ、午後4時より御火焚きを囲み暖を取り、各々の家庭から一品料理を持ち寄り、お御堂の御前で会食を開き親睦を深めました。



もっと君の一口メモ「虚空蔵さん」

虚空蔵とは、宇宙のような無限の智慧と慈悲の心が収まっている蔵を意味します。右手に剣、左手に如意宝珠を持っているのが一般的です。五仏宝冠を戴いた坐像として表現され、成績向上、記憶力増進、頭脳明晰、商売繁盛、技芸向上のご利益があります。また、丑・寅年の守り本尊です。丑・寅年に生まれた人々の開運、厄除け、祈願成就を助けるといわれています。



●「観音さん祭り」を開催しました

1月17日(日)17時より、香椎宮南の観音堂において、子ども達によるお祭りが行われました。お御堂の両側に提灯(女子中)を吊り下げて、御厨の観音様に献花・献灯を行い、お供え物等で飾り付けを行いました。

参拝者にお茶菓子でお接待し、心身の健康と成長をお祈りしました。

～山下区長～

四国巡礼十三番にあたります。



養父

●公民館年末大掃除をしました

12月27日(日)9時より、養父町公民館の年末大掃除をしました。班長、子どもクラブ、民生委員さんの他、養父町民が総勢約100名参加し、公民館の内外を一齐に掃除しました。大掃除終了後、子どもクラブや有志の方でホンゲンギョウの準備をしました。



●ホンゲンギョウを開催しました

1月9日(土)7時より、養父八幡神社境内にてホンゲンギョウを開催しました。子どもを含め、約110名が参加しました。当日は雪が降って大変寒かったですが、各家庭で飾ったお正月のしめ縄などを燃やしなが、大きく燃える火を囲み温まりました。

～天本区長～





大晦日の恒例となりました平田町天満宮の「光の回廊」。お昼のうちに準備し、23時を過ぎたところで灯を灯しました。

元日0時直前より初詣の人々が多数来場され、新年のお参りをしてお神酒を飲まれていました。



● ホンゲンギョウを開催しました



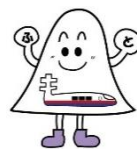
1月16日7時より、圃場整備記念碑広場にてホンゲンギョウを実施しました。予定日の9日が大雪だったため、延期しての開催となりましたが、70名以上の参加がありました。今年はコロナのため、子供達の餅焼きのみ行い、参加の方々と楽しい時間を共有できました。

～楠田区長～



もっと君の一口メモ「ホンゲンギョウ」

大晦日の夜に焚く「かがり焚き」が年神様を迎える「迎え火」で、大体1月7日頃に行われる「ホンゲンギョウ」は年神様を送る「送り火」です。お正月に飾った門松やしめ縄などを燃やし、この火で体を温めておくと風邪をひかないとも云われます。



今年は
2月2日ですよ!

節分



節分は、元来「立春」「立夏」「立秋」「立冬」の季節の変わり目の前日を差しましたが、今では立春の前日の意味に使われています。今年は立春が例年より1日早い2月3日であるため、節分が2月2日となります。これは地球が太陽の周りを回る公転の周期が1年きっかりでないことで生じた微妙なズレが原因で、1897年以来124年ぶりということです。今年からしばらくは4年ごとに2月2日が節分の日となり、2057年の次は58年で2年続くということです。

古代中国では厄神や邪鬼が季節の変わり目に生じると考えられ、厄神や邪鬼を追い払う行事として行われるようになりました。豆まきは、「魔滅」や「魔目」とかけられ、「福は内、鬼は外」と唱えながらまくことで邪鬼(災厄)を追い払う行事となったものです。

また、年神様(歳徳神)のいる縁起のよい方角【恵方】を向いて、無言で丸かぶりする恵方巻は、「福を巻き込む」の意味で太巻き寿司を「縁を切らない」ために切らずに食べます。

今年の恵方は南南東です。皆さんで邪鬼を払いましょう!



2/10(水)のふるさと学級(相葉先生の歌声ひろば)は中止となりました。

楽しみにして下さった皆様、申し訳ございません。

2/24 「楽しく歌いましょう♪」
(水)

3/3 「退職後の私を振り返って」
(水) ~老後の過ごし方~

3/10 「少年非行の予防・対策
(水) について」他

10:00~11:30

10:00~11:30

10:00~11:30

水頭 順子先生

(九州龍谷短期大学名誉教授)

牛島 啓爾先生

(郷土史家)

9:30~ エンジョイふもとライフ!
~中尾センター長のお話~

権藤 俊次先生

(福岡刑務所篤志面接委員)

9:30~ エンジョイふもとライフ!
~麓地区民児協~

※参加無料・要申込、定員30名

担当：山都町

担当：牛原町